

# 尚絅学院大学

心理・教育学群

子ども学類

こども保育コース (福島東高校出身)

(※2022年度入学者から新カリキュラムとなります)

Q.編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

6月下旬頃から編入を考え始めました。公務員か編入かで迷っていましたが、家族と話し合いをする中で、将来的には公務員を目指したいが、自分の中で「子どもについてさらに理解を深めたい」という思いの方が強いことに気づき、一般の編入試験を受けることにしました。

Q.編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

- ①大学のホームページを見る。
- ②オープンキャンパスに参加する。(2022年7月23日)
- ③受験要項を取り寄せる。
- ④過去問に取り組む。先生方に添削していただく。面接練習も並行して行う。
- ⑤編入試験(小論文・面接)

Q.実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

試験2週間前頃から長谷川先生と基本的な応答内容について話し合い、その後、先生方に面接練習をしていただきました。一対一で入室からのご指導をいただきました。小論文は過去問に取り組み、書き上げた小論文と一緒に回答例を先生方にお渡しし添削をお願いしました。添削後は見直しを行い、もう一度書いて再度添削していただきました。

Q.編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

編入に切り替えたのが9月の実習後だったので、小論文に関しては「繰り返し練習あるのみ」という感じでした。また面接に関しては、項目ごとにどんなことを話したいのか回数を重ねて確立していきました。

Q.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

「親と子のひろば」の参加を通して、様々な年齢・個性を持つ子どもとのかかわりを活かして実習に取り組むことができたことです。保護者ともかかわり、子育ての悩みを気軽に聞くことができる環境も良かったと思います。

Q.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

面接の答え方です。結論を先に言い切りその後に理由を言うことで、簡潔で分かりやすい応答ができました。言いたいことが後から出てきて答えが長くなる傾向があったので、とても役に立ちました。また、答えの核をきちんと決めた上で、棒読みにならないよう自分の言葉で伝えることも大切だと感じました。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①ひろばの参加や実習を通して、子どもと向き合える保育者になりたい。

②実習を行う中で、もっと深く保育について学ぶ場や時間が欲しい。

③自分の伝えたいことを全部伝えることができるか不安。でも、入学後のことを考えると楽しみ。

④面接は和やかな雰囲気で行われたけれど、小論文に自信がなく不安。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

先生方、キャリア支援センターの方の支援が手厚く、きちんと相談していれば目指す進路・納得のいく進路に進めると思います。頑張ってください。